

鍛圧機械の産業ビジョン

10年後のあるべき姿について

産業ビジョン

国際競争力の強化に向けて 『人と環境にやさしいエコプロダクツの実現』

業界の成長サイクルの実現



収益の確保⇒技術・設備・人材に再投資⇒差別化⇒国際競争力強化



2006年10月 (社)日本鍛圧機械工業会

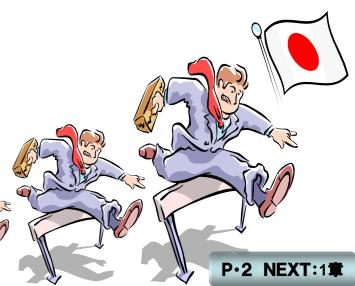
鍛圧機械業界の現状分析とあるべき姿!!

- 1章. 鍛圧機械業界の現状分析
- 2章. 鍛圧機械業界の強みと弱み
- 3章. 業界会員が求める最大の取り組み
- 4章. 顧客業界のニーズとシーズ
- 5章. 鍛圧機械の技術開発の方向性
- 6章. 何故エコプロダクツ商品なのか?
- 7章. 鍛圧機械業界の今後の取り組み

10年後のあるべき姿!!

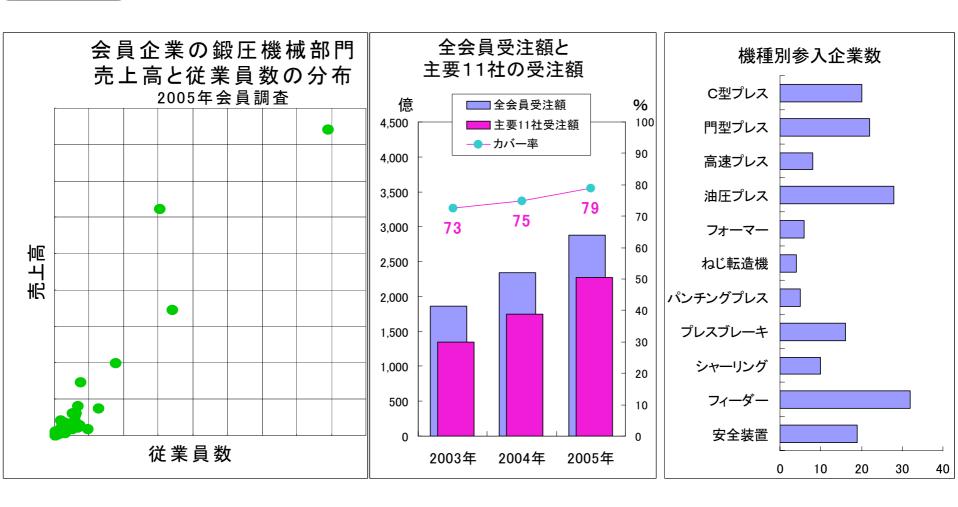
10年後

ダントツ世界NO, 1



1章. 鍛圧機械業界の現状分析

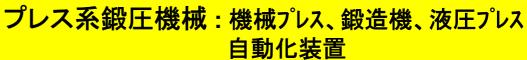
鍛圧機械 会員企業の規模と生産機種数



1.会員企業は10社程度の大手と中堅・中小企業の合計62社で構成し、主要11社で全会員の 受注額の約8割を占めていますが大手の得意分野は限られており、特定顧客向けの専用機や、 特殊技術を入れ込んだ専用機・自動化装置・安全器は中堅・中小の得意分野となっている。

P・4 NEXT:業界の主な商品

鍛圧機械業界の主な商品















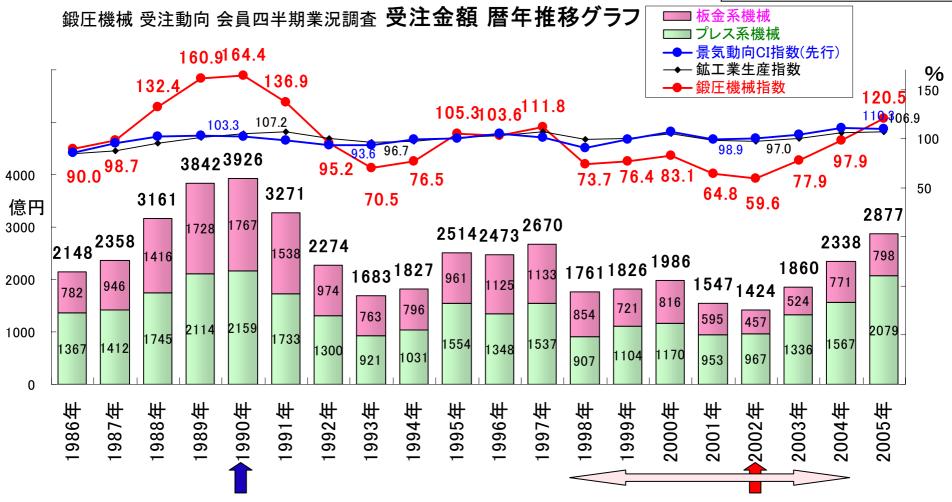


板金系鍛圧機械 パンチングプレス プレスブレーキ せん断機 ベンディングマシン その他

P·5 NEXT:業界の受注動向

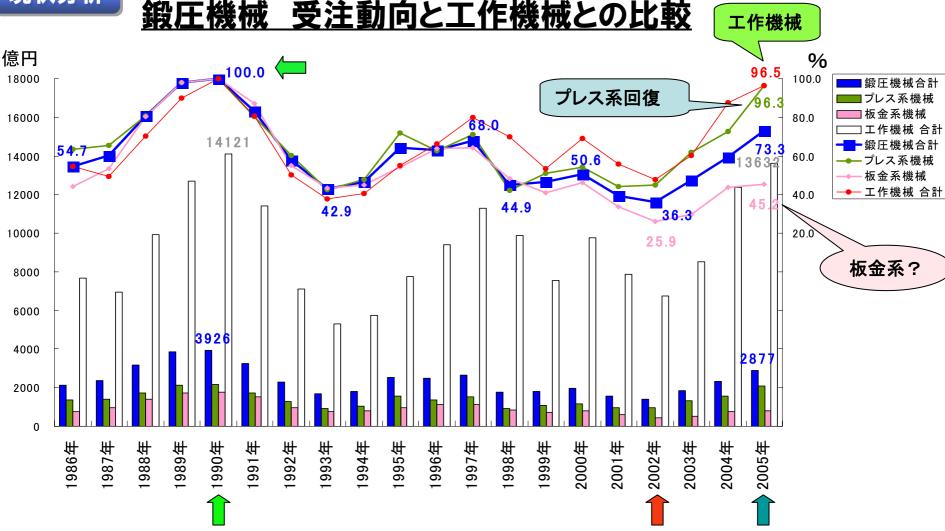
鍛圧機械 受注動向 全会員業況調査

プレス系機械とは機械プレス+液圧プレス+鍛造機+自動化装置とした。 板金系機械とはパンチングプレス+プレスブレーキ+せん断機+ベンディングマシン+その他機械とした。



1.鍛圧機械の受注は、<u>景気動向指数や鉱工業生産指数の変動幅と比較し約5倍に拡幅して振れる</u> 設備投資機械産業ですが、<u>近年7年間も下回っていた20年平均を2005年になりやっと上る。</u>

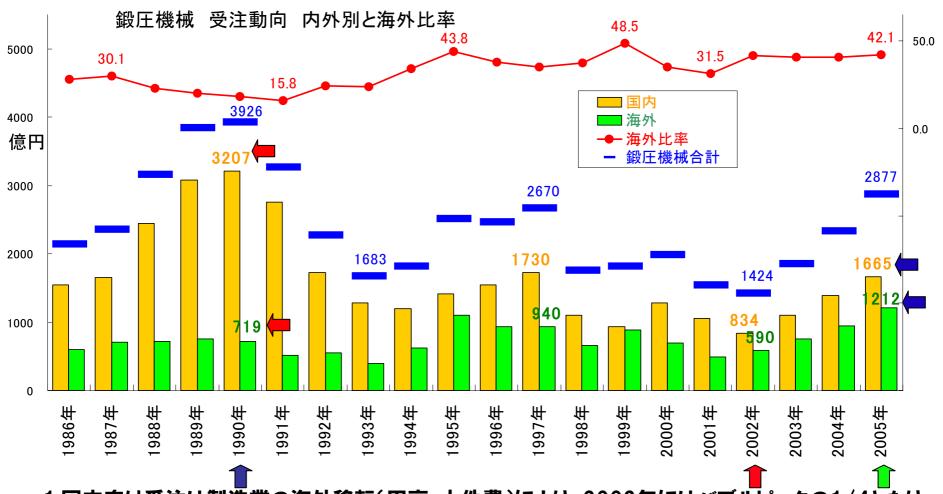
P・6 NEXT:工作機械との受注動向比較



- 1.2005年の工作機械業界は1990年のバブル期に近いレベル(96.5)まで回復し、2006年は バブル期を上回る勢いですが、<u>鍛圧機械業界は73.3</u>のレベルであり、バブルのピークまでは至って いない
- 2.鍛圧機械業界でもプレス系機械は工作機械と同様に回復したが、板金系機械は45.2と半分以下の回復、その主要因は工作機械業界のレーザー攻勢と考えられる。

P·7 NEXT:受注動向 国内·海外比較

鍛圧機械 受注動向 国内向けvs海外向け



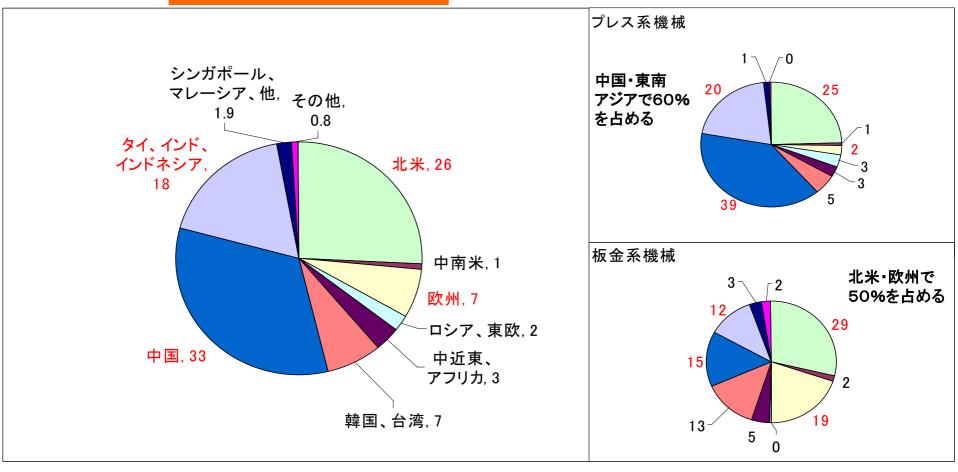
1.国内向け受注は製造業の海外移転(円高・人件費)により、2002年にはバブルピークの1/4となり 回復した2005年でも、まだ50%強の状況で今後大きな伸びは期待できない。

2.海外向け受注は2005年に過去最高を記録し、バブル期の1.7倍に達した。今後も更に大きく伸びる事が想定され更なる国際競争力の強化が求められる。

P・8 NEXT:海外向け受注分析

鍛圧機械 受注動向 海外向け受注

海外輸出国別 2005年

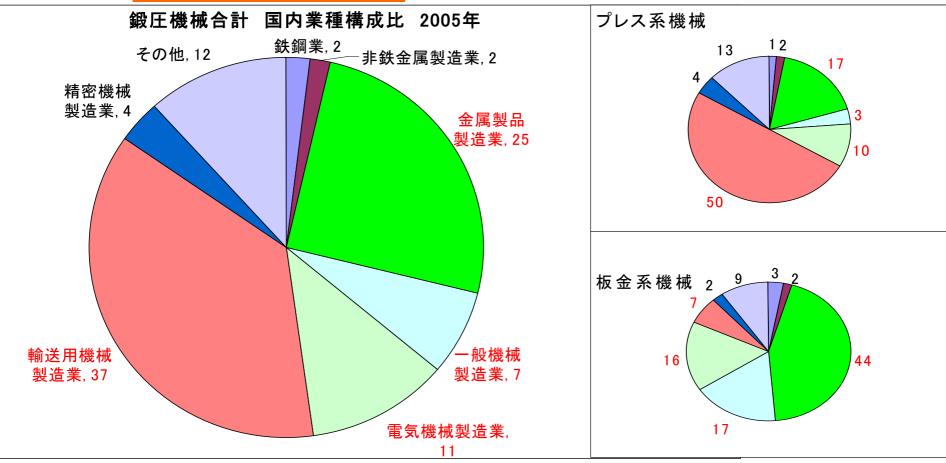


- 1.海外向けは中国・北米・タイ・インドで77%を占める。
- 2.プレス系機械は中国が4割を占め、北米、タイと続き、欧州の比率が小さい。
- 3.板金系機械は北米が3割、欧州が2割で50%を占めています。

P·9 NEXT:需要先受注動向分析

鍛圧機械 受注先分析とプレス系機械vs板金系機械

国内業種別 2005年

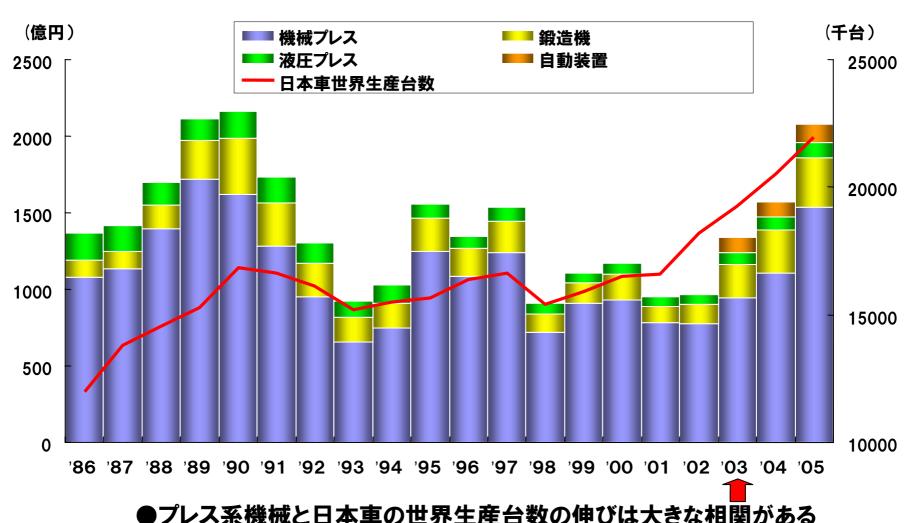


- 1. プレス系機械は輸送用機械向けのウエイトが大きく、金属製品や他の自動車向けを含めると約70%強は自動車産業向けと思われ、自動車の海外生産拡大投資がプレス系機械の拡大に大きく寄与。
- 2. ユーザ業種は15年間ほぼ不変であり、業界発展の為には自動車産業に次ぐ新たなユーザー(業種)開発が 課題となる。

P・10 NEXT:日本車生産動向と業界受注の相関分析

プレス系鍛圧機械の受注金額と日本車の世界生産台数との相関

鍛圧機械:機械プレス+鍛造機+液圧プレス+自動化装置



- ●プレス系機械と日本車の世界生産台数の伸びは大きな相関がある
- ●特に03年からは顕著

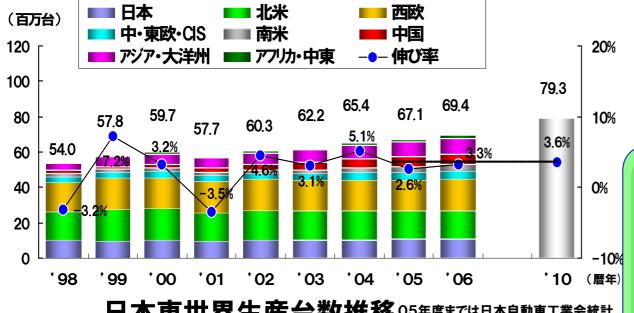
世界の地域別自動車生産台数推移

出典 06年度まではFOURIN自動車統計 10年は米国JDパワー・アンド・アソシェイツ

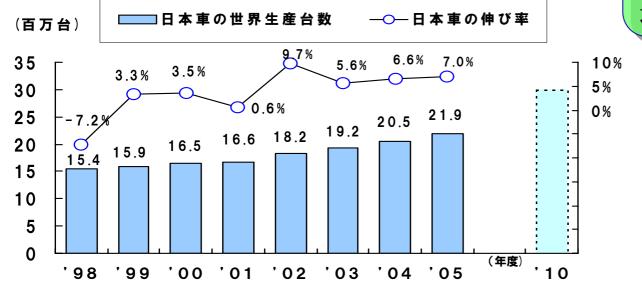
- ・毎年3~5%の伸び
- ・主に中国、アジアで伸長
- ・今後も年3%程度の伸び



自動車の国内生産の 伸びは期待できないが 日系自動車メーカー及び サプライヤーの海外増産 と新たな海外拠点の進出 によりプレス系機械の需要 増が今後も期待できる!!



日本車世界生産台数推移 .05年度までは日本自動車工業会統計 10年度は推定



日本車の世界生産動向

- ・毎年5~7%の伸び
- ・今後も年6%程度の伸び

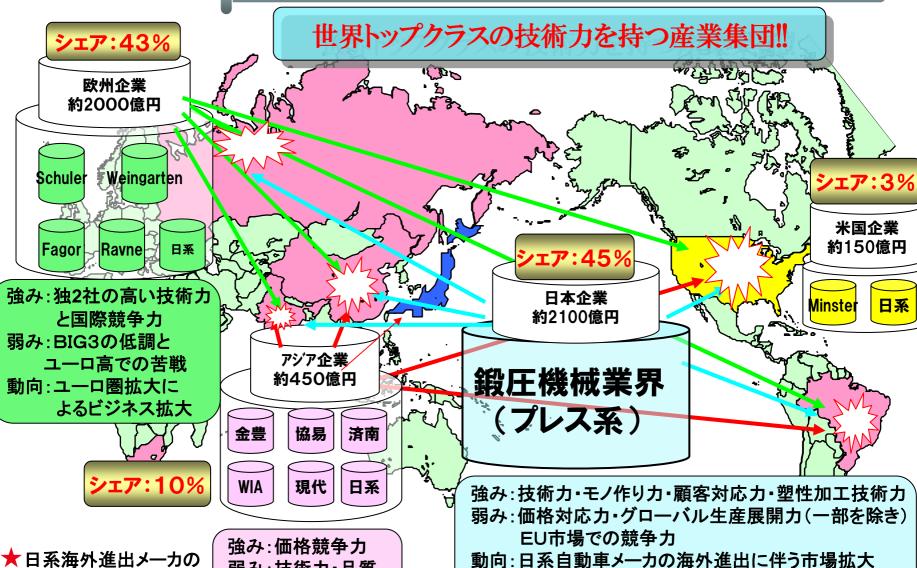
P·12 NEXT:2章 業界の強みと弱み

2章、鍛圧機械業界の強みと弱み

グローバル現状分析

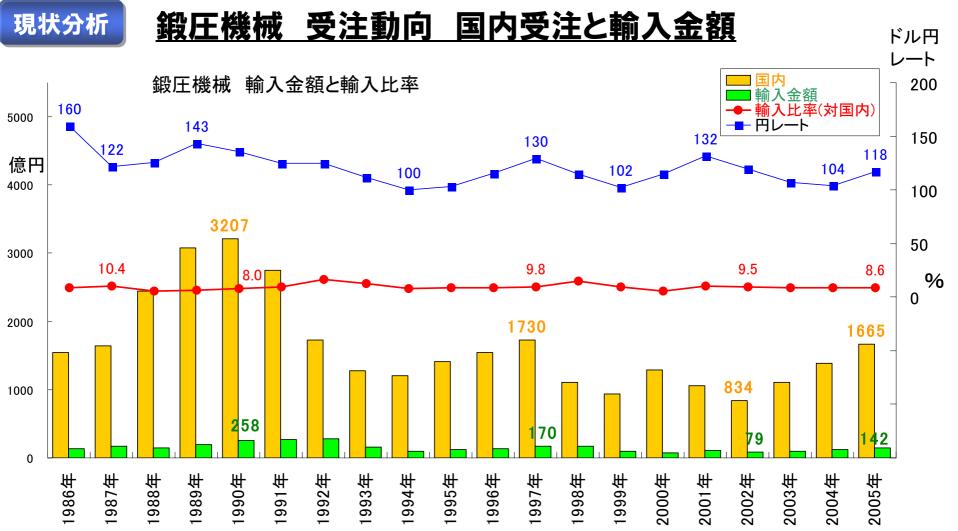
業界の強みと弱み(プレス系グローバル競争力)

(BRICS市場の拡大)



★日系海外進出メーカの 海外実績は日本の 実績にカウント 弱み:技術力・品質 動向:技術・品質強化 日本市場進出

P·14 NEXT:輸入機の現状分析



1.国内需要に対し輸入機械の割合は8%程度で推移しており、円/ドルレートの変動や近隣国の機械産業の成長にも左右されない特殊な技術と価格競争力及び安定した顧客層を持つが 今後大きく伸びる事は無い。

3章、業界会員が求める最大の取り組み

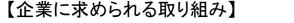
団法人日本鍛圧機械工業会会員企業が重視している取り組み

(経済産業省のアンケートより)。

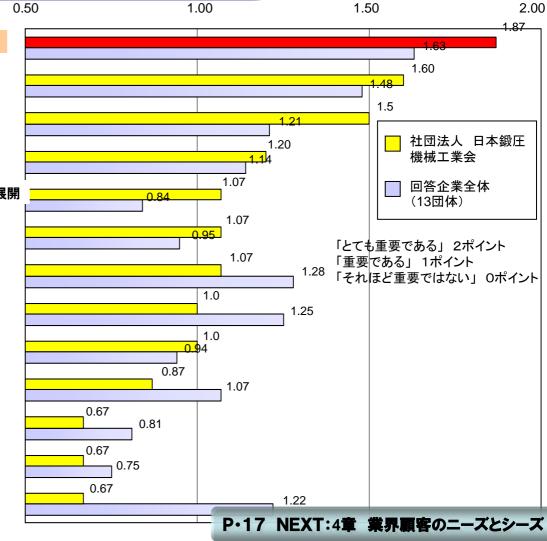
業界会員が求める最大の取り組み:独自の技術・技能の開発

業界団体別の重要度集計

オリジナリティーの強化



- ① 独自の技術・技能、組織力、顧客ネットワーク等の認識・活用
- ② 自社の経営理念・戦略の主体的な提示
- ③ 新しいユーザー産業の開拓
- ④ ユーザーからの要求に対する融通性・柔軟性の堅持
- ⑤ 海外情報の収集、海外への進出、現地企業との連携等の海外展開
- ⑥ 大学、工業高専等との関係深化による人材確保
- ⑦ 働きやすい作業環境の実現
- ⑧ 不適切な取引慣行の是正
- ⑨ 川上・川下の企業との連帯を通じた技術開発
- ⑩ 自社の技術の適正な評価と見極め
- ① 近隣の関係事業所とのコミュニケーションの活性化
- ① 同業/異業との積極的な連携
- (13) 経営を狙う後継者の育成



4章、顧客業界のニーズとシーズ

顧客業界のニーズとシーズ

顧客業界

鍛圧機械業界の位置付と塑性加工について

基盤産業 素形材



基幹産業 自動車 電機・電子産業 諸産業等



高

付

加

価

値

部

品







1

ニーズ&シーズ



搬送装置

鍛圧機械

安全装置

型

塑性加工

潤

素材

金

滑

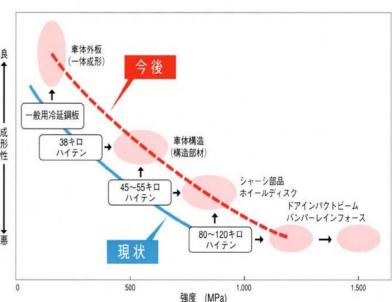
P・19 NEXT: 自動車部品のニーズ

1) 自動車部品のニーズ

金属プレス技術と自動車との関係

金属ノレス技術と自動車との関係				
部位		要求される機能	対応するプレス技術	
エンジン部品	シリンダーヘッドカ バー、マニュホール ド、オイルパン、燃料 タンク、ガスケット、 インジェクターノズ ル	軽量化、複雑形状、高 強度、高耐久性	アルミ合金等の加工技術 成形シミュレーション技術 ハイテン材加工技術 など	
車体・部品	ボディ、シャシ・フレーム、ラジエター・グリル、マフラー、ヒンジ、ペダル、パーキングブレーキレバー、ハンガービーム		ハイテン材加工技術 アルミ合金等の加工技術 テーラードブランク ハイドロフォーミング 対向液圧成形 成形シミュレーション技術 複合プレス加工技術 スプリング バック 対応技術 など	
懸架、制動部品	サスペンション	軽量化、複雑形状、高 強度、高耐久性	テーラードブランク 成形シミュレーション技術 アルミ 合金等 の加工技術 など	
駆動部品	ディファレンシャル、 スプロケット、クラッ チハブ、AT 用ギヤな ど	軽量化、複雑形状、高 強度、高耐久性	高機能化材の加工技術 成形シミュレーション技術 など	
その他	各種部品に使われる プレス加工製品	軽量化、複雑形状、高 強度、高耐久性	上記の他に、 工具耐久性向上技術 素材位置決め技術 など	

「我が国重要産業の競争力強化に向けた金属プレス技術の高度化の方向性等に係る基礎調査」 三菱総合研究所より



ハイテン材の動向 JFEスティール㈱資料



板鍛造製品

P・20 NEXT:情報家電部品のニーズ

2)情報家電部品のニーズ

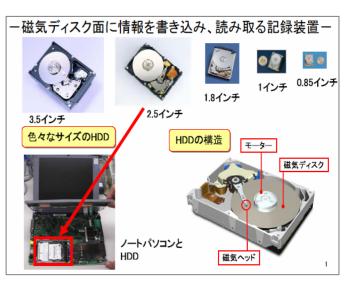
金属プレス技術と情報家電との関係

金 樹 ノレ 人 牧 州 と 首 報 彰 电 と の 関 1 米				
部位		要求される機能	対応するプレス技術	
半導体・電子部品	リードフレーム	微細化、精密化、高精	精密・微細加工技術	
	FD センターハブ、シ	度化	バリなしせん断、バリ取り技 ┃	
	ヤッター		術、かす上がり防止技術 な	
			Ĕ	
機器内部品	金具、筐体、各種スイ	微細化、精密化、高精	精密・微細加工技術	
	ッチ、リレー、端子、	度化、複雑形状	ドライブレス技術	
	コネクター、駆動用歯		スクラップレスの成形技術な ┃	
	車、ボタン電池ケー		[변	
	- ス、電極			
ハードディスク	HDDサスペンション	微細化、精密化、高精	精密・微細加工技術、	
CD, MD, DVD	ジンバル、マウントブ	度化	バリなしせん断、バリ取り技	
	レート、レンズビック		術	
	アップサスベンショ		複合ブレス加工技術 など	
	ン、ケース、軸受、針			
モーター	コアブレート、ケース	微細・高精度化	微細・高精度化技術	
		自動積層	型内積層技術	

「我が国重要産業の競争力強化 に向けた金属プレス技術の高度 化の方向性等に係る基礎調査」 三菱総合研究所より

携帯電話に必要な 微細精密要素部品 (NEDO技術資料)





HDDの開発動向 (NEDO技術資料)

- =>RFアンテナ (高周波アンテナ)
- =>RFスイッチ(微小高速周波数変更スイッチ)
- => RF共振子・RFコンデンサー(可変コンデンサー・共振子)
- =>チューナー・フィルター
- =>指向性マイクロフォン

P·21 NEXT:ロボット分野のニーズ

3) ロボット分野のニーズ

金属プレス技術とロボットとの関係

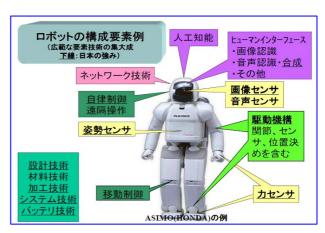
部位		要求される機能	対応するプレス技術	
表面部材・骨格用構造部材		微細化、精密化、高精 度化	インクリメンタルフォーミン グ	
			複合プレス加工技術をと	
駆動部部材	アクチュエーター、各	微細化、精密化、高精	マイクロフォーミング	
駆動用構造部材	種センサー、移動機構	度化	複合プレス加工技術 など	
マニピュレータ				
半導体・電子部品	センサー関連小物部	微細化、精密化、高精	精密・微細加工技術	
	묘	度化	かす下がり防止技術 かど	
燃料電池	セパレータ	微細化、精密化、高精	特殊材の加工技術	
		度化、高耐久性	精密・微細加工技術 など	

金属プレス技術と燃料電池との関係

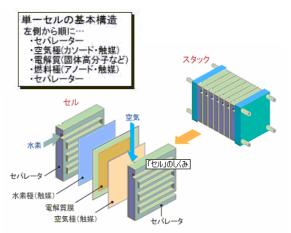
部位	要求される機能	対応するプレス技術
セパレータ	微細化、精密化、高精度化、高耐久性	特殊材の加工技術 押印加工技術 精密・微細加工技術 など

燃料電池の構造 (NEDO技術資料)

「我が国重要産業の競争力強化に向けた金属 プレス技術の高度化の方向性等に係る基礎調査」 三菱総合研究所より



ロボットの構成要素 (NEDO技術資料)



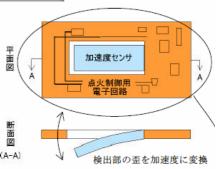
P・22 NEXT:先進技術製品のニーズ

4) 先進技術製品のニーズ

マイクロマシン

MEMS: Micro Electro Machine System

エァバックの 加速度センサー



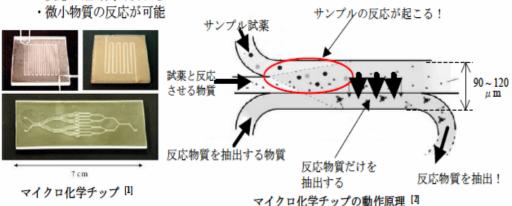
エアバッグに用いられる 加速度センサチップ[1]

マイクロ化学チップ(DNA分析)

- ・MEMSのエッチング技術等により微小な反応流路をガラス基板上等に形成し、化学物質を この流路で反応させる。
- ・試薬の反応、反応物質の抽出を最も効率的に行うための設計が重要 (チップのレイアウトの最適化計算、流体計算による化学反応の最適化計算など)

サイズを小さくすることによるメリット

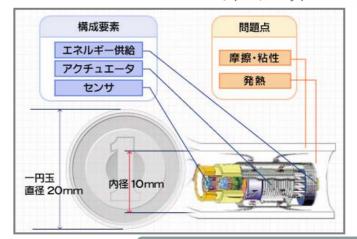
・反応が短時間で終わる



チップの大きさ:□2 mm 装置サイズ:□15mm



加速度センサを搭載したエアバッグの コントロールユニット[1]



NEDO技術解説より

P·23 NEXT:塑性加工のシーズ

塑性加工のシーズ







五つのカテゴリー

- 1. 複合成形
- 2. 複動成形
- 3. 逐次成形
- 4. 液圧成形
- 5. 微細·精密成形



被加工材

難加工材

高機能化材料

軽量化材料

異素 材

テーラードブランク

1) 複合成形(各種の工法の組合せ成形)

塑性加工と切削





塑性加工と結合



(株)セキコーポレーション殿

熱間鍛造と冷間鍛造

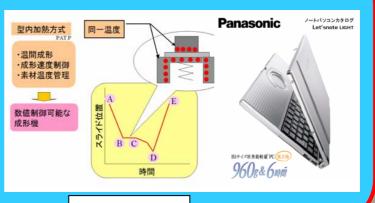


大岡技研(株)殿

板金成形と冷間鍛造の複合成形



金型内加熱によるマグネシウム成形



(株)サンキ殿

P·25 NEXT:複動成形のシーズ

2) 複動成形

振動成形

特徴

- ・高精度・高付加価値形状の成形
- ・加工工程数(金型費、設備費)の削減

板金成形

精密打抜き

絞り

FCF工法 圧縮絞り





トヨタ自動車(株)殿

鍛 造

閉塞鍛造背压成形





液圧成形

ハイドロフォーミング 対向液圧成形



JFEスチール殿



P·26 NEXT:逐次成形のシーズ

3)逐次成形

1.特 徵

- ◆<u>省資源、省エネルギ</u> 逐次成形は小能力、 コンパクトな設備で可能
- ◆<u>多品種中量生産に適応</u> 金型数、金型コストの削減、 後加工とのインライン成形

Blank Wedge Spinning Wedge Forming of V-Pulley Wedge Forming of One-Piece Wheel Blank With Teeth Top View Wedge Forming of V-Pulley Forming of Internal Teeth Spline

2. 工法

板金成形

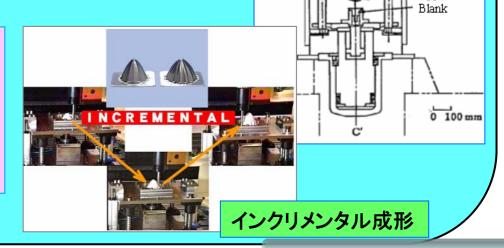
<u>冷間鍛造</u>

スピニング、転造

摇動鍛造

フローフォーミング

インクリメンタル成形



P·27 NEXT:液圧成形のシーズ

摇動鍛造

Electric Motor

Sieeve.

Gear Eccentr, Unit

Main Shaft

Ball Seat Frame

Upper Die

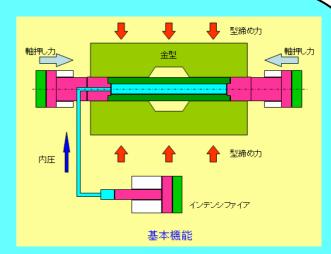
4) 液圧成形

1. 特 徵

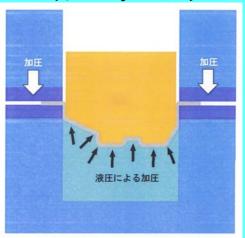
- 1) 液圧を金型として活用
 - ・3次元応力(静水圧)により成形性の向上
 - ・ 金型部品の削減
 - 2) 環境にやさしいエミッションフリー成形へ
 - 3) 多品種小・中量生産

2. 工 法

- 1) ハイドロフォーミング
- 2) 対向液圧成形



ハイドロフォーミング

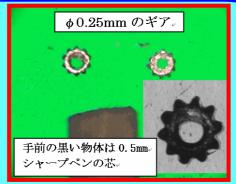


対向液圧成形

5) 微細精密成形

. 特 徴

- ★ 環境にやさしいコンパクトで軽量な製品の拡大
- ★ ミクロン精度の部品需要拡大
- ★ エッチングやマイクロマシニングからの工法転換



2. 対象製品

中小企業基盤整備機構「戦略的基盤技術強化事業」

★ インクジェツトプリンタのノズル

★ 自動車の燃料噴射装置のノズル



Φ120~300 μ m $t = 0.2 \, mm$

【プレス抜きされた斜め孔の

電子顕微鏡写真】

【12孔ノズル部品】

(株)小松精機工作所殿

★ 微細段差成形: Multi chip module 溝

 $254 \pm 0.5 \,\mu \,\mathrm{m}$ ピエゾ素子駆動の図解 穴径: Φ28.5±0.5μm インク液面 1ライン48穴 6ライン成形 動作イメージ

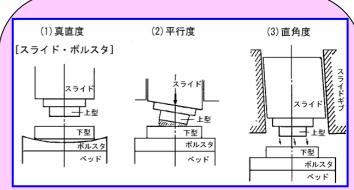
P·29 NEXT:5章技術開発の方向性

5章、鍛圧機械の技術開発の方向性

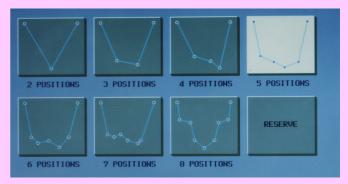
技術開発の方向性(1)

3-1 ネットシェイプ成形に資する鍛圧機械

- (1) 超高精度・高剛性化 マザーマシンの動的な幾何学的 精度の向上 (スライド・ボルスタ の真直度、平行度、直角度、 下死点、偏心荷重等)
- 2) デジタル制御による高機能化
 - ・スライドモーションの最適制御
 - ・プレス作動部の加圧力、速度、 位置の最適制御
 - 動的な幾何学的精度の制御
 - 弾性変形、下死点の位置制御



スライドの幾何学的精度



最適なスライドモーション設定

P·31 NEXT:技術開発の方向性(2)

技術開発の方向性(2)

3-2 省資源・省エネルギに資する鍛圧機械

鍛圧機械

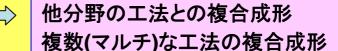
- 1) 省エネルギの駆動方式、作動機構
 - ・サーボ技術による動力の最適制御
 - ・摩擦抵抗の低減、潤滑レスの摺動部
- 2) コンパクトな構造 (省資源・省エネルギ)
 - ・プレスの高精度・高剛性化によるネットシェイプ成形
 - ・工場(据付面積・高さ)の縮小、消費建材・電力の削減等、 LCA(ライフサイクルアセスメント)に好影響
 - •インライン成形
- 3) 汎用性
 - ・1台で多種類の鍛圧機械の機能

技術開発の方向性(3)

3-2 省資源・省エネルギに資する鍛圧機械

鍛圧機械

- 4) 複合成形機能
 - 多工程成形
 - ・モジュールプレス
- 5) 複動(マルチ)作動機能
 - ・上下、左右、前後方向からの駆動
- 6) 難加工材の成形
 - ・スライドモーション・速度の任意設定
 - 局部加熱-温度制御機能



工程短縮、複雑形状のネットシェイプ成形

軽量化材(ハイテン、アルミ合金、マグネシウム、チタン等)

技術開発の方向性(4)

3-2 省資源・省エネルギに資する鍛圧機械

鍛圧機械の成形システム

- 1) 知能化成形システム
 - ・高生産性、高エネルギ効率の最適制御システム
 - ・金型を含んだフルターンキーの成形システム
 - 24時間無人運転システムインライン製品検査・補正システム (ロバストセンサー)金型・材料交換システム
- 2) 多品種中·小量生産

- 逐次成形の応用
- ・金型、材料の交換時間の短縮
- フレキシブルなマテハン装置
- 3) 高エネルギ効率の温間・低温間成形
 - ・ 難加工材用に局部加熱を含む素材・金型温度制御システム

P・34 NEXT:技術開発の方向性(5)

技術開発の方向性(5)

3-3 人に優しい鍛圧機械

快適な環境で、人はインテリジェントな作業に集中

1) 安全

・安全と生産性の両立

2) 環境

低振動•低騒音

・サイレント成形

⇒ t-

モーション・速度制御

エミッションフリー

・ドライプレス成形

無潤滑油

メンテナンスフリー

• 生産管理、予防保全、故障診断

3) 稼働率の向上 IT技術の活用

段取り時間の短縮

・成形条件、搬送タイミングの自動設定

・ 金型・材料の自動交換

トライ時間の短縮

・ 成形シミュレーションとプレスのドッキング

技術開発の方向性(6)

3-4 先進技術分野を対象とした微細精密プレス

新規需要の創出

- 1) 微細精密成形
 - ロボット、マイクロマシンマイクロ化学チップ



シングルミクロン、 ナノレベルのプレス加工

- 2) 振動成形
 - ・成形性を高め、ドライ加工を促進する振動成形
- 3) 難加工材の成形

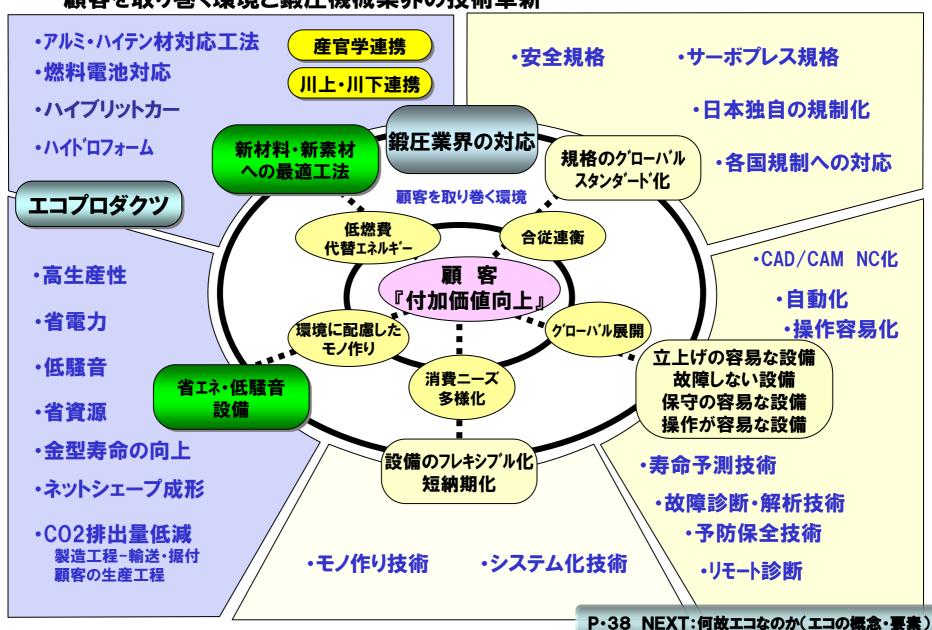


・ 高機能化材:インコネル、ニオブ、タンタル、モリブデン、 樹脂、樹脂・金属複合材、金属ガラス

6章、何故エコプロダクツ商品なのか?

顧客のニーズからくるエコの技術的要求

顧客を取り巻く環境と鍛圧機械業界の技術革新



何故エコなのか??(エコの概念・要素)

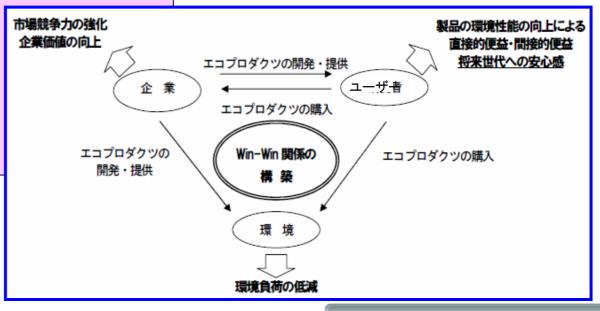
ユーザーニーズは総てエコプロダクツに結びつく

- 1. エコプロダクツとは、差別化要因 として環境負荷低減に着目し た製品・サービス
- 2. エコプロダクツの主な要素
 - 1) 省資源、省エネルギー
 - 2) 廃棄物の削減、無害化
 - 3) 製品軽量化、耐久性やリサイクル性の向上
 - 4)金型寿命の向上
 - 5) ネットシェープ成形 他

経済産業省 エコプロダクツと 経営戦略研究会資料より



Win-Win



P・39 NEXT:業界におけるエコ商品

業界におけるエコ商品











鍛圧機械業界のエコプロダクツ商品 の現状

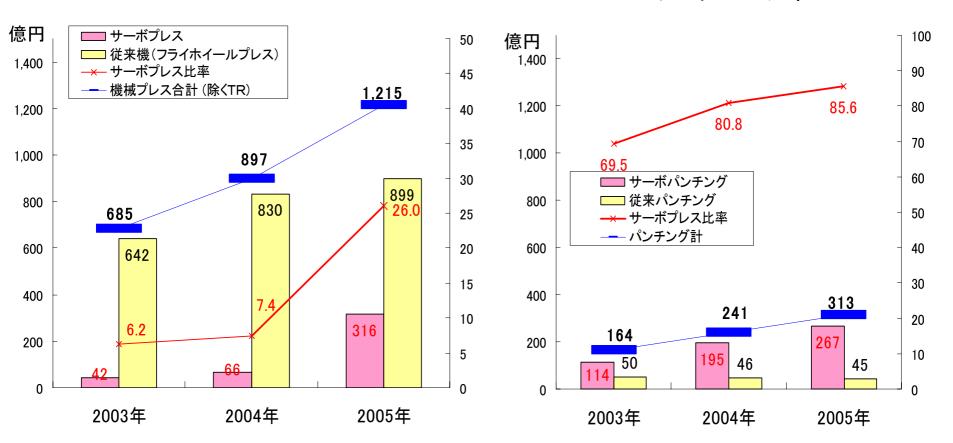
機種名	エコ対策	機 能	付帯効果	仕向け業界	グローバル評価
C型プレス	0	サーボモーター駆動	省電力. 低騒音. 省油	自動車·金属製品業界	世界オンリーワン
門型プレス	0	サーボモーター駆動	省電力,低騒音, 省油	自動車・金属製品業界	世界オンリーワン
高速プレス	0	サーボモーター駆動	省電力. 低騒音. 小型化省資源	電子部品業界	
油圧プレス	0	油圧ポンプ駆動サーボ モーター	省電力,低騒音,	自動車·金属製品業界	世界オンリーワン
ハイドロフォーミング マシン	0	D.D.V式油圧サーボポン プ	省電力. 低騒音. 省油	自動車·金属製品業界	
フォーマー	0	高精度ボールベアリング 採用他	省電力. 低騒音. 低振動	自動車・ネジ・ボルト 業界	
パイプベンダー	0	D.D.V式油圧サーボポン プ	低騒音. 省電力. 省油	自動車·金属製品業界	
ネジ転造盤	0	サーボモーター駆動	低騒音.低振動.省油	ネジ・ボルト業界	
パンチングプレス	0	サーボモーター駆動. 回生機構	省電力. 低騒音. 低振動	金属製品業界	
プレスブレーキ	0	油圧ポンプ駆動サーボ モーター	省電力. 省油	金属製品業界	
シャーリング					
電縫管成形設備	0	成形ロールの万能化	省電力. 省資源	自動車·金属製品業界	
フィーダー		サーボモーター	- を使用した		
安全装置		エコマシーンが		P・40 NFXT:サーボブ	

P·40 NEXT:サーボプレス受注動向O3VsO5

鍛圧機械 受注動向 サーボプレスの受注動向

機械プレスにおけるサーボプレス比率

パンチングプレスにおける サーボプレス比率



- 1.2005年は従来のフライホイール式の機械プレスの伸びは小さく、サーボプレスは約5倍に増加し全体の26.0%を占めるに至った。
- 2.板金機械のパンチングプレスのサーボ化は更に進んでおり、80%を越えたと推定される。

P・41 NEXT:エコ商品紹介(汎用プレス)

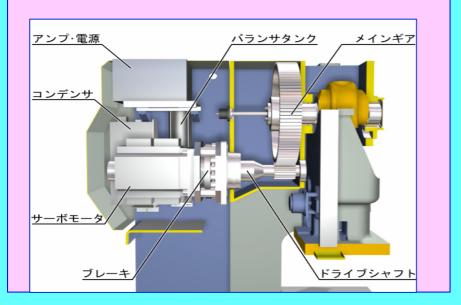
汎用サーボプレス

オンリーワン商品

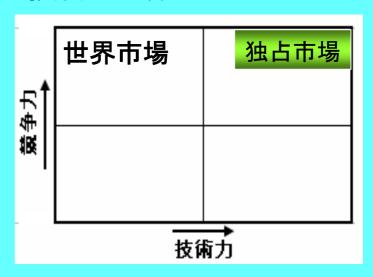
1. 技術の特徴

- ★フリーモーション
- **★低騒音·低振動**
- ★生産性向上
- ★製品の高精度化
- ★難加工材の加工
- ★工程数の削減





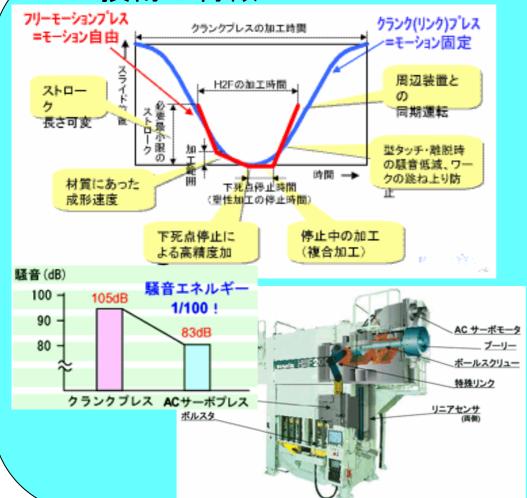
2. 技術力と競争力



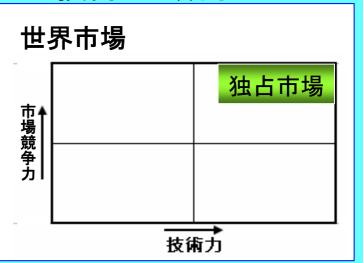
リンク式サーボプレス (タンデムプレスライン)

オンリーワン商品

1. 技術の特徴



2. 技術力と競争力



超高精度・高剛性プレス

オンリーワン商品

1. 技術の特徴

ネットシェイプ・高付加価値成形

- ・スライドギブはクリアランス"O"の面接触
- ⇒による高い動的精度
- ・高い偏心荷重能力
- ・集中荷重に強い構造

2. 技術力と競争力

世界市場

市場競争力

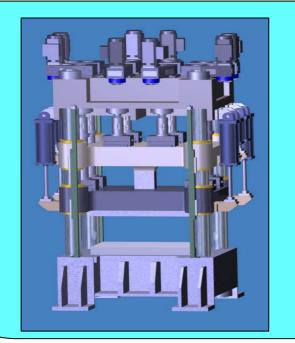
独占市場

P・44 NEXT:エコ商品紹介(複合成形プレス)

超高精度・複動成形プレス

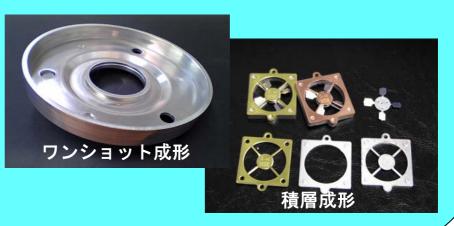
オンリーワン商品

- 1. 技術の特徴
 - ・オールサーボ駆動による複動成形
 - ・マルチポイントによる耐偏心荷重
 - ・工程削減と金型のコストダウン
 - ・プレス製品の超高精度化
 - •多品種少量生産対応



2. 技術力と競争力





P・45 NEXT:エコ商品紹介(インクリメンタルフォーミング)

インクリメンタルフォーミング機

オンリーワン商品

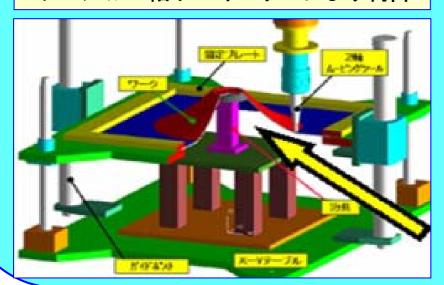
1. 技術の特徴

プレス機械から成形機へ

- ・金型レスの塑性加工
- 少量生産
- 工期の短縮、試作開発費の削減

IT技術の活用

・ツールが3軸サーボモターにより制御



2. 技術力と競争力



7章、鍛圧機械業界の今後の取り組み

鍛圧機械業界の今後の取り組み

JAPANブランドの確立による国際競争力強化

国際基準作り(JISの国際基準化)

- ・サーボプレスの国際規格化
- •安全規格
- ・鍛圧機械のエコプロダクツ基準作り

マーケット戦略

・業界商品の国内外へのPR促進(見本市等で)

知財戦略

- ・知的財産権の確立
- •模倣品対策

産・学・官 連携

- •公的資金の有効活用
- ・パートナーシップの強化

10年後



P・48 NEXT:公的企業支援施策の有効活用

中小企業支援施策(主なるもの)

公的企業支援施策の有効活用によるエコマシン一ンの開発

経営サポート

・ 中小企業戦略的IT化促進事業 自社のシステム開発に対する支援。

・ 戦略的高度化支援事業基盤技術 重要産業分野ーー17業種(金属プレス加工、鍛造、金型他14業種)。

・中小企業基盤技術継承支援事業 熟練技能者等の技能・技術・ノウハウの蓄積・活用のソフトウェア研究開発。

・中小企業技術革新(SBIR)制度に基づく支援 新技術開発後の事業化の際の特許料の軽減や債務保証。

中小企業技術基盤強化税制 試験研究を実施した場合、税制の特別措置を受けられる。

・ 中小企業知的財産権保護対策事業 海外で知的財産の侵害を受けている中小企業が行う模倣品・海賊版の製造元や

卸元等の特定調査に要する経費の一部を補助する。

・ 中小企業海外展開支援事業 専門家によるアドバイスを無料。情報の収集が出来る。(国際化支援アドバイス)

小規模企業設備資金貸付制度 設備購入代金の半額を無利子で融資を受けられる。

金融サポート

調達を行いやすくする。

財務サポート

・中小企業投資促進税制 機械・装置その他の対象設備・資産を導入された場合、税制の特別措置を受ける

ことができる。

P·49 NEXT:產·学·官連携

ニーズの収集とシーズの開発に向けて

各工業会及びメーカー・学界・研究所とのパートナーシップの強化



自動車・家電メーカー







日本金属プレス工業会

自動車部品工業会

非鉄金属メーカー

鉄鋼メーカー

大学•研究所•試験場

日本塑性加工学会

型技術協会









シーズの開発

日本金型工業会

電気部品工業会

電子部品工業会

日本鍛造協会

エコマシーンの開発⇒国際競争力強化

P·50 NEXT:10年後のあるべき姿について

国際競争力の強化に向けて

「業界の継続的発展の為のでフード:エコマシーンの開発が世界を制す!!」







鍛圧機械業界産業ビジョン策定委員会委員

		A +1 -12
	氏 名	会 社 名
	1	(アイウエオ順)
委員長	榎 本 清	アイダエンジニアリング(株)
	俊 平 月	取締役 専務執行役員
委 員	中野隆志	アイダエンジニアリング(株)
		開発本部成形技術センター長
委員	織田直樹	(株) アマダ
	水 田 単 倒	取締役
委員	八 懸 幸 晴	(株) アミノ
	八二次一十二月	営業顧問
委員	西川義昭	(株) エイチアンドエフ
		東京支店長
委員	小木フ	(株) 小松製作所
	小森了	産機事業本部業務部主査
委員	++ m +	(株) 放電精密加工研究所
	村田力	開発事業部加工開発G. Gリーダー
事務局	佐 藤 武 久	日鍛工 専務理事
	松本憲治	日鍛工事務局長